



おねがい町長!

このコーナーは町民の町施策に対する
願いや思い、そして思いに対して議会としての
見解を紹介するコーナーです。

ちょっと聞いて、
私の願い!

みどり区 男性(70代)

高齢化が進み、一人暮らしの高齢者が地域で住み続けられるよう、地域で支えあうつながりや仕組みが必要と感じます。町では、すまいるあつが事業などを行っていますが、そういうところに出て行けない方への支援をどのように行うのか。

地域が取り組めるよう町もアイデアや施策を講じて欲しいです。

議会の見解

高齢化が進むなか、地域で安心して暮らし続けるための仕組みづくりの重要性は議会としても認識しているところです。町では、各行政区の活動を活性化させるために、行政区活動支援交付金を実績に応じて交付していますが、行政区によって交付額に大きく差が出ています。

行政区が自主的に進めることも確かに大切ですが、町としてもコーディネートする機能が必要と考えます。

今後の人口推移とあわせて、各行政区活動の状況も調査し、町への提言につなげていきます。

平成29年度行政区

活動支援交付金申請額

※提案事業のみ

◎最高額：313,612円

◎最低額：65,000円

※提案事業未申請：1行政区

新コーナー

議会へのご意見箱

議会に対する町民のみなさまのご意見を募集しています。
要望、ご意見など議会活動に対する声から、町民に身近な議会を目指すためのコーナーです。

中央区 男性(80代)

議員のなり手不足が話題になっているが、大切なのは議員一人ひとりが地域の代表者であるという認識をしっかりと持っているか。日々の勉強、日常の言葉使いなど、具体的な行動が大切。現議員11名が議員になっていることのやりがいや熱意を感じ、行動することがなり手不足対策の一番のポイントとなると思われる。ぜひ、原点に立ち返って、やりがいをもって後の2年弱を地域の代

表として活動して欲しい。

議会の見解

厳しくも、力強いご意見ありがとうございました。議員のなり手不足は全国的にも話題となっている中、7月の管外政務調査では、浦幌町議会を視察してきました。浦幌町議会は、様々なメディアでも取り上げられています。浦幌方式という独自の試算で議員の報酬を算出し、また、町民に議会活動を理解してもらい、より身近な議会を目指した様々な取り組みを実践していました。

意見交換をするなかで、議員との兼業の難しさや、若い世代の議会への無関心など本町と同様の課題を抱えていることも分かりました。

今後、定数と報酬については、議員定数等調査特別委員会で協議を進めていきますが、私たち11人が議員という立場に気概を持ち、議員一人ひとりが町民の代表であるとしてしっかり認識しながら、残りの1年8カ月余りを活動していくよう取り組んで参ります。

皆さんの声

大募集!

議会では、町に何とかして欲しいことや施策へのご意見、また議会に対する思いなどを募集しています。みなさんの声がまちを変える! どしどし声を聞かせて下さい。
お近くの議員、または議会事務局 (TEL.76-3191) まで。